

業績ハイライト (2021年9月期)

●財務ハイライト

経常利益 (連結)

454
億円

前年同期比
68億円 増

親会社株主に帰属する 中間純利益

318
億円

前年同期比
48億円 増

総自己資本比率 (連結)

12.60
%

前期末比
0.18% 減

ROE (連結) 株主資本ベース

7.01
%

前期末比
1.35% 増

貸出金残高 (単体)

11兆5,211
億円

前期末比
3,147億円 増

預金残高 (単体)

14兆1,388
億円

前期末比
343億円 増

●非財務ハイライト

寄付型私募債引受額

地方創生私募債
スポーツ応援私募債
医療応援私募債

累計 768億円

上記商品による寄贈・寄付金額

累計 125百万円

女性活躍推進 (2021年7月1日現在)

リーダー職以上
女性比率

25.5%

※リーダー職とは、支店長代理など部下をもつ職務にある職員およびそれと同等の地位にある職員であり担当業務の責任者として組織マネジメントの職責を担う者

株式情報 (2021年9月30日現在)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権：毎年3月31日
期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告
(当行ホームページ <https://www.chibabank.co.jp/>)
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株式事務取扱場所 株主名簿管理人・事務取扱場所
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先 ☎0120-707-843

株主優待制度

対象株主 毎年3月末現在、1,000株以上を1年以上継続保有の株主さま※
制度内容 以下の3コースより、いずれかをお選びいただけます。

※「1,000株以上を1年以上継続保有」の確認につきましては、毎年3月末および9月末の当行株主名簿に、同一株主番号で1,000株を下回ることなく連続して3回以上記録されることといたします。

①千葉県特産品コース

千葉県の特産品等を掲載したカタログからお好みの商品をお選びいただけます。

②寄付コース

SDGsに貢献する取組みを行う団体や基金のなかから寄付先をお選びいただけます。

③TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース

第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、群馬銀行の地元特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。

優待基準

1,000株以上10,000株未満保有	①③特産品 (3,000円相当) ②寄付額 (3,000円)
10,000株以上保有	①③特産品 (6,000円相当) ②寄付額 (6,000円)

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉県千葉市中央区千葉港1-2
TEL. 043-245-1111(代表)
<https://www.chibabank.co.jp/>
2021年12月発行



有機溶剤等を使用しない
環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915



2021

ミニ・ディスクロージャー誌
2022年3月期 営業の中間ご報告

プロフィール (2021年9月30日現在)

社名 株式会社千葉銀行
設立 1943(昭和18)年3月
本社所在地 千葉市中央区千葉港1-2
従業員数 4,236人
発行済株式数 815,521千株
総資産 18兆3,742億円
預金 14兆1,388億円
貸出金 11兆5,211億円
資本金 1,450億円
総自己資本比率 連結12.60%
単体11.94%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てるうえ表示しています。

ちばぎんグループSDGs宣言

当行は「ちばぎんグループSDGs宣言」を制定し、5つのマテリアリティ（重要課題）に基づいて地域が抱える社会・環境課題の解決に向けて取り組んでいます。

5つのマテリアリティ	
地域経済・社会	地域経済とコミュニティの活性化に貢献します
高齢化	高齢者の安心・安全な生活を支えます
金融サービス	より良い生活をおくるための金融サービスを提供します
ダイバーシティ	ダイバーシティと働き方改革を推進します
環境保全	持続可能な環境の保全に貢献します

●自治体と地方創生SDGsに関する連携協定を締結

2021年10月、松戸市・山武市と地方創生SDGsに関する連携協定を締結しました。本協定は、当行と自治体が緊密な連携と協働による活動を推進し、地域経済の活性化および市民サービスの向上を図ることを目的としています。本協定の締結を機に、SDGsを原動力としたさまざまな取り組みを進めていくことで持続可能な地域経済の発展に貢献していきます。

●経営企画部内に「SDGs推進室」を新設

2021年10月、2030年のSDGs達成および脱炭素社会の実現に向けた取り組みをグループ一体で進めていくため、経営企画部内に「SDGs推進室」を新設しました。今後も、サステナブル・ファイナンスやコンサルティング業務、グループ全体のCO₂排出量削減などの取り組みを一層加速させていきます。

●「SDGsセミナー2021」を開催

2021年11月、当行グループ会社の(株)ちばぎん総合研究所とともに、「SDGsセミナー2021」を開催しました。自治体や企業の職員を中心に参加者は200名を超え、県内で先進的なSDGsの取り組みを行っている自治体・企業の取組事例の紹介などを通して、SDGsの推進に向けたアドバイスやヒントを提供しました。

サステナブル・ファイナンスの取組み

「サステナブル・ファイナンス」とは、環境課題や社会課題の解決を資金使途とするファイナンスであり、お客さまのESGやSDGsへの取組みを支援するファイナンスを含みます。

●国内初の取組事例

2021年7月、野村不動産ホールディングス(株)の包括型サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（包括型SLLフレームワーク）^{*1}制定にあたり、当行がコーディネーターとして策定支援を行うとともに、本フレームワークを活用したサステナビリティ・リンク・ローン（SLL）^{*2}を取り組みました。なお、包括型SLLフレームワークを活用したSLLの取組みは国内初となります。

^{*1} SLLフレームワークを制定した融資先は、同社のSDGs・ESG戦略を支援する金融機関を主導的に募り、本フレームワークを活用したSLLの取組みが可能。

^{*2} 金利条件などと、融資先が設定した持続可能な経済活動および経済成長をするための目標に対する評価を連動させ、その達成状況に応じてインセンティブやディスインセンティブが発生する融資。



フレームワーク制定式の様子

●SDGsに関する融資制度の取扱いを開始

2021年10月、事業者さまのSDGs・ESG戦略における取組みの支援を目的として、「ちばぎんサステナビリティ・リンク・ローン」および「ちばぎんグリーンローン」の取扱いを開始しました。また、個人のお客さまのエコカー購入や太陽光発電の導入などによるSDGsに向けた行動を支援するために、マイカーローン・リフォームローンにおける金利割引（SDGs割引）の取扱いを開始しました。

TOPICS

ちばぎん商店(株)によるクラウドファンディングサイト「C-VALUE」がスタート

2021年10月、当行100%出資の地域商社「ちばぎん商店(株)」による、購入型クラウドファンディングサイト「C-VALUE」がスタートしました。本サイトは、千葉発の新品・新サービス・新プロジェクトを集め、千葉のまだ見ぬ魅力を発信・応援することを目的とし、挑戦する人（起案者）と挑戦を応援する人（サポーター）をつなぐ役割を担っています。

ちばぎん商店(株)では、今後も地域の事業者の商品開発から販売開拓支援、プロモーション支援まで一連のサービスを提供していきます。



オープニングイベントの様子

当行が購入を支援したエクモカーが千葉大学医学部附属病院に導入されました

2021年11月、当行が購入を支援したエクモカー（人工心肺装置を装着したまま患者を搬送できる救急車両）が千葉大学医学部附属病院に導入され、寄贈式が行われました。当行は、エクモカー導入の趣旨に賛同し、本年2月に同病院に対して購入資金の一部として1,000万円を寄付しました。



エクモカー寄贈式の様子

株主優待制度による寄付金を贈呈

2021年9月、株主優待制度において「寄付コース」を選択いただいた株主さまからの優待品相当額を、株主さまに代わり「日本赤十字社千葉県支部」および「ちば環境再生基金」へ寄付しました。当行では本年度より「寄付コース」を導入しており、株主さまからいただいた寄付金は、千葉県内での地震・水害などによる被災者の救護活動や自然の保全などに役立てられます。

第14次 中期経営計画 NEXT STEP 2023 ～未来へ、つながる・超える～

2020.4.1 ▶ 2023.3.31

「お客さまや地域社会のパートナーとして最新の金融サービスを提供し、地域経済の持続的な発展に貢献する」ことを使命とし、その実現に向けて金融機能の深化と地域金融の新たなモデル構築による「カスタマー・エクスペリエンス」の向上をビジョンとして掲げています。

●基本方針

I	お客さまに寄り添い共に進化し続けます
II	お客さまの未来のために新たな価値を創造し続けます
III	提携戦略を高度化します
IV	サステナブルな経営を実現します

●主要計数項目

項目	2023年3月期 (最終年度)	2021年3月期 (実績)	2021年9月期 (実績)
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	600億円	496億円	318億円
連結ROE(株主資本ベース)	6%台半ば	5.65%	7.01%
OHR(単体)	50%台前半	55.00%	50.02%